

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月3日

上場会社名 株式会社コラボス 上場取引所 東
 コード番号 3908 URL http://www.collabos.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茂木 貴雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 青本 真人 TEL 03(5623)3391
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,197	10.8	194	19.9	194	20.2	128	25.7
27年3月期第3四半期	1,081	—	161	—	161	—	101	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	182.87	157.12
27年3月期第3四半期	202.32	—

(注) 平成27年3月期第3四半期期間より四半期財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第3四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,334	1,061	77.5
27年3月期	1,203	901	74.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,034百万円 27年3月期 901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 平成28年3月期の配当予想につきましては、現在未定です。

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,630	10.0	220	6.9	215	22.4	137	28.0	197.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	705,500株	27年3月期	694,400株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	—	27年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	700,144株	27年3月期3Q	503,418株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安や原油安の影響が後押しとなり企業収益については改善を維持、それを受け、設備投資の状況も一部弱含みの要素を含むものの、緩やかな増加基調にあります。また同様に、雇用所得環境においても、需給改善や所得の増加傾向がみられており、景気は緩やかな回復基調で推移しております。しかしながら、なおも中国をはじめとする新興国・資源国経済の減速の影響により、輸出は力強さを欠く状況が続いており、加えて、在庫調整の動きから生産においても横ばい圏内の動きで推移しており、依然新興国経済の動向に依存する面は強く、先行きは不透明な状況にあります。

当社が属するクラウドサービス市場においては、「クラウドファースト」がより一層浸透しており、システム構築の際にはクラウドが常に念頭に置かれ、高い信頼性や耐障害性を求められるような場面においてもクラウドへの移行が見られるなど、今後も持続的な需要と促進が見込まれており、2019年度の市場規模は約2兆円を超えるとも言われております。

このような環境下、当社はコールセンター向けにクラウドサービスを提供しておりますが、その中でも主力商品である@nyplace（IPネットワークを利用した電話交換機機能をクラウドで提供するインバウンド向けのサービス）を中心に売上高は順調に推移しており、COLLABOS PHONE（インターネット環境を利用したソフトフォンをベースとした電話交換機機能をクラウドで提供するサービス）やCOLLABOS CRM（コールセンター業務に特化したインバウンド向け顧客管理システムをクラウドで提供するサービス）、COLLABOS CRM Outbound Edition（コールセンター業務に特化したアウトバウンド向け顧客管理システムをクラウドで提供するサービス）等のユーザビリティの高い商品もそれぞれ順調に推移した結果、第3四半期累計期間で売上高は1,197,556千円（前年同四半期比10.8%増）となりました。営業利益は194,034千円（同19.9%増）、経常利益は194,227千円（同20.2%増）、四半期純利益は128,038千円（同25.7%増）となりました。

当第3四半期累計期間における売上高、売上原価、販売費及び一般管理費の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 売上高

当第3四半期累計期間は、@nyplace関連のコールセンター席数は順調に推移し、649席増加し5,352席となり売上高は927,822千円となりました。COLLABOS PHONEのチャネル数（同時回線接続数）は56チャネル増加し647チャネルとなり売上高は77,957千円となりました。COLLABOS CRMの利用ID数は292ID増加し2,634IDとなり売上高は139,197千円、COLLABOS CRM Outbound Editionの利用ID数は31ID増加し570IDとなり売上高は29,483千円となりました。その他売上高は23,095千円となり、第3四半期累計期間で売上高は1,197,556千円となりました。

② 売上原価

当第3四半期累計期間の売上原価は、676,072千円（前年同四半期比7.5%増）となりました。主に各サービスそれぞれで回線料、ネットワーク機器等設備の保守費用、ホスティング費用、顧客毎のコールフロー設定等の作業費用、ソフトウェア及びハードウェアの償却費用等が発生し、@nyplace関連で463,012千円、COLLABOS PHONEで99,165千円、COLLABOS CRM（含む、Outbound Edition）で102,124千円となりました。

③ 販売費及び一般管理費

当第3四半期累計期間の販売費及び一般管理費は、327,449千円（前年同四半期比12.7%増）となりました。主な内訳は、人件費192,319千円、業務委託費、広告宣伝費、家賃等の人件費以外の経費135,130千円であります。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前年度末に比べて131,143千円増加し、1,334,320千円となりました。主な要因は、新株予約権の発行および利益剰余金の増加に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前年度末に比べて28,428千円減少し、273,063千円となりました。主な要因は、リース債務の増加があった一方で、未払法人税等の減少、借入金返済に伴う減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の部は、前年度末に比べて159,572千円増加し、1,061,257千円となりました。主な要因は、利益剰余金が128,038千円増加、新株予約権の発行および行使により新株予約権が26,584千円増加、資本金及び資本剰余金が合計して4,949千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	644,671	762,103
売掛金	180,540	207,299
前払費用	7,260	9,316
繰延税金資産	6,646	6,646
その他	—	1,836
貸倒引当金	—	△186
流動資産合計	839,118	987,014
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,078	4,078
減価償却累計額	△3,915	△3,945
建物(純額)	163	132
工具、器具及び備品	336,163	339,354
減価償却累計額	△285,524	△300,036
工具、器具及び備品(純額)	50,639	39,318
リース資産	130,033	174,080
減価償却累計額	△37,856	△59,988
リース資産(純額)	92,176	114,092
有形固定資産合計	142,979	153,544
無形固定資産		
ソフトウェア	105,895	91,859
ソフトウェア仮勘定	53,319	40,038
その他	414	414
無形固定資産合計	159,630	132,312
投資その他の資産		
差入保証金	25,949	25,949
破産更生債権等	547	121
繰延税金資産	35,499	35,499
貸倒引当金	△547	△121
投資その他の資産合計	61,448	61,448
固定資産合計	364,058	347,305
資産合計	1,203,176	1,334,320

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	45,214	63,278
短期借入金	30,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	13,912	2,808
リース債務	26,288	33,406
未払金	19,207	17,332
未払費用	3,393	4,059
未払法人税等	50,429	26,127
未払消費税等	25,781	17,461
前受金	2,081	3,449
賞与引当金	8,000	—
役員賞与引当金	2,000	—
その他	2,109	4,610
流動負債合計	228,418	182,533
固定負債		
リース債務	73,073	90,529
固定負債合計	73,073	90,529
負債合計	301,491	273,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	298,450	300,925
資本剰余金	278,450	280,925
利益剰余金	324,402	452,440
株主資本合計	901,303	1,034,291
新株予約権	381	26,965
純資産合計	901,684	1,061,257
負債純資産合計	1,203,176	1,334,320

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,081,300	1,197,556
売上原価	628,749	676,072
売上総利益	452,550	521,483
販売費及び一般管理費	290,678	327,449
営業利益	161,872	194,034
営業外収益		
受取利息	18	81
受取手数料	58	58
受取補償金	439	—
還付加算金	697	—
違約金収入	—	1,920
営業外収益合計	1,213	2,059
営業外費用		
支払利息	1,533	1,865
営業外費用合計	1,533	1,865
経常利益	161,552	194,227
特別損失		
固定資産除却損	119	59
特別損失合計	119	59
税引前四半期純利益	161,433	194,168
法人税等	59,578	66,129
四半期純利益	101,854	128,038

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。